

奨励賞

新津商工会議所（新潟県） 地域の歴史と文化を再発見！ 古民家宿泊施設を核とした地域周遊観光の推進

地域（商工会議所）概要

- ◆ 鉄道の街として栄えた新津市では、長らく商工会議所が観光協会業務を受託。2010年、商工会議所青年部が、中心市街地の空き店舗を活用して、駄菓子屋「昭和基地一丁目C57（しごなな）」を開店したところ、市内外から人が集まるようになり、現在でも当該店舗だけで年間延べ5万人ほどの来客がある。
- ◆ 2022年には、新津観光協会所属のガイドと協力して、観光案内板の設置を進めると同時に、まちあるき用パンフレット「にいつまちあるき歴史探訪」を作成。観光客はさらに増加傾向となっている。

取組の概要・ポイント

- ◆ 以前は新津駅を中心に多くの宿泊施設が営業していたが、年々事業者が減少。コロナ禍の影響もあり、2021年には遂にゼロとなった。そこで、宿泊施設ゼロの解消に向け、「新津まちづくり協議会（商工会議所・観光協会が積極的に関与）」を組織した。
- ◆ 2023年11月、農林水産省の補助金を活用して「新津まちづくり協議会」が宿泊施設「スロウハウス」を開業。現在、秋葉区内唯一の宿泊施設として、営業している。
- ◆ かつて産油地として栄えた痕跡である古民家を改装、宿泊施設兼飲食店として地元農家と連携し新津地域で採れた食材を使用した食事を提供する等、地域資源の活用に重きを置いている。
- ◆ ただの宿泊施設ではなく、「泊まれる劇場」をコンセプトに、イベントの企画による観光拠点としての誘客や、地元住民の憩いの場としての活用にも取り組んでいる。



▲ 建物は大谷製油所の創業家の母屋を改装



▲ 海外から移住した舞踊家の夫婦が経営する「泊まれる劇場」